



社会福祉法人ひまわり理念
 ・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
 ・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献

基本方針
 ・利用者があるがまの姿を受け入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
 ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
 ・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
 ・社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく（気持ちの良い）態度で接します
 ・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索
 0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.net



きつきの里デイサービス

11月11日に地震が起きたという想定で避難訓練を実施しました。今回で2回目の訓練でしたので、職員、利用者様とともに落ち着いて取り組む事が出来ました。今後も訓練を繰り返して、いざという時に落ち着いて対応できるようにしていきたいと考えています。



瑞雲荘

11月16日に夜間の避難訓練を杵築市大田消防団第2分団と実施しました。一旦帰宅した職員と消防団が緊急連絡を受け、瑞雲荘に駆けつけ、利用者の方々に避難させました。消防団の方より「実際に災害が起こる事を想定し、緊張感を持って訓練に取り組むように」との意見をいただきました。

避難訓練実施

ふくしまっ子応援プロジェクト

「第2回大田福祉祭り」は残念ながら中止となりましたが、バザー商品として集まった商品を利用者様、職員で購入し、集まった¥28,500円を義援金として大分県ボランティア市民活動センターの主催する「ふくしまっ子応援プロジェクト」(<http://www.oitavoc.jp/uploads/photos/440.pdf>)に寄付させていただきます。東日本の日も早い復興を願っております。

第2回大田福祉祭り

11月5日に予定してありました「第2回大田福祉祭り」は雨天の為中止となりました。来場者の方々、利用者の方々をテントに避難していただき、多少の雨でも開催しようという意見もございましたが、現実的には開催が困難であり、中止とさせていただきます。次回は雨天時の対応策も含め、より充実した形で大田福祉祭りを開催したいと考えております。

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

マイコプラズマ肺炎が急増しております。10月中旬の報告では3週間前の2倍以上に増えており今後、冬にかけて増加の恐れがあります。マイコプラズマ肺炎は、テレビ等でよく聞く病名ですがどんな病気かご存知ですか？

主な症状は、発熱と激しい乾いた咳、全身倦怠感です。特に咳は痰を伴わない乾いた感じの咳で長期間続きます。この病気は、子供や成人に多く、高齢者にもみられます。比較的短期間に病像ができていくこともあります。逆に非常に長い経過をとることもあります。子供から大人に感染するものと推測され、自覚症状もあまいで、微熱と倦怠感、せきが長期間続き、やがて発熱が目立つようになり、決まった時間になると38度から39度の発熱を生じるようになります。特効薬や、ワクチンはいまのところありません。予防は手洗いとうがいを行って室内の換気を行い、感染者との濃厚な接触を避けることも重要です。

(今宮)

相談員日記

先日、施設の外の景色を見ていた時のことです。ふと上を見るとクモの巣が目に残りました。クモは足を器用に動かしながら巣を紡いでいました。最初はその大きなクモに気を取られていたのですが、よく見てみるとそのクモの少し後に子供らしき小さなクモがいます。さらに目を凝らして見ると、子供クモは親クモの巣を紡いでいる動きをそのまま真似していました。面白いなと思いつつ、しばらく目が釘付けになっていました。親子で寸分違わぬ全く同じ動きです。

(重松)

親クモが、巣の紡ぎ方を教えているのか子供クモが巣の紡ぎ方を見て盗んでいるのかは分かりません。ただ、「子は親の背中を見て育つ」という言葉を思い起こしておりました。恐らく生きとし生けるものの共通原則なのではないかと思えます。しかし、人は言葉というコミュニケーションを用いて伝えようと試みます。私自身も子育て真っ最中ですが、子は親の言う事を聞きません。なのに親のやる事は真似します。言葉も確かに大切なのですが、やはり態度や行動を真似る方が、はるかに自身に沁み渡るのが早いのも本能で感じ取っているのでしょうか。改めて自身の態度や行動を見つめ直してみようと思った今日この頃です。

編集後記

今回の編集後記は他の記事との調整の為少し背伸びしてあります。前月比1.5倍でございます。さて、晩秋です。センチメンタルな季節です。そんな季節にふと思いつく人が居ます。その人とは小学生時代から会っていないので僕の中ではその人は小学生のままで、逆もまたしかりです。僕が覚えていて、僕の事覚えてない人や僕が忘れてしまっても、僕のこと覚えていてる人。皆、一同に集まって、「自分の為だけの同窓会」を開いてみたい。なんてね。閑話休題。僕の通っていた小学校は別府ラクテンチの近くにあつてその昔校舎が火事になった時、裏にある野球場でキャンプをしていた西鉄ライオンズの稲尾投手が消火を手伝った事で知られています。(稲尾投手は先発で4連投など無茶な事をして有名ですが、この時はやはり火消しにまわったんですね)当時のラクテンチはまだまだ活気があつて色んな劇団や舞台が巡業に来ており、入場者数も多く僕は授業中窓から見えるラクテンチのグルグル回る観覧車を見ながらやり過ごしてました。そんな小学校に2、3ヶ月に1人は転校生がやってきてました。ラクテンチに来る舞台や劇団の息子や娘たちです。彼ら彼女らは2ヶ月ぐらいおきに転校し全国を回っており、子役をやっている子も居て、すっごく大人に見えましたし、実際そうだったんだと思います。僕の知らない大人の世界や、何処で買ったのか想像もつかない服や靴。そして皆共通して得も知れない独特の影を持っていたように感じました。いつもそんな彼女らを羨望の眼差しで僕は見ていました。そんな中で好きになってしまった女の子がいました。小学生の僕には、もう完璧でした。まるで違う星から来た女の子でした。しかし女子、しかも得体的に知れない転校生。そんな子と話をしたり、仲良くすれば即いじめの対象になるお年頃です。話しかける事も出来ずに僕と同じように窓からラクテンチを眺めてる彼女を眺めるのが一杯でした。そして2ヶ月後、お別れと言うのは突然やってきます。いつもの朝、先生が彼女の転校を告げました。「あさってで、が転校します。皆とあと少ししか居られないが、仲良くするように...」結局、彼女にお別れの言葉も言えず彼女は次の巡業場所へ帰ってしまいました。...もう彼女の名前も、顔も忘れてしまいました。...あの女の子は元気にしているだろうか?と、ラクテンチ」と書かれた看板を眺めながらそんな事を思い出した秋の一日でした。(高尾)

毎月二〇日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾毅一

三楽園デイサービスセンター

利用者様の感想

西村重子様
勇壮なお神楽で大蛇を退治する場面では冷や冷やしたが、とても迫力があり凄かったです。バザーでも良い買物ができ、とても楽しかったです。ありがとうございました。

瑞雲荘 庄内神楽 見学
予定されていた大田福祉祭りは残念ながら雨天の為中止でしたが、同日に瑞雲荘内にて庄内神楽が公演され、三楽園利用者様も見学に出かけました。間近で観る神楽は迫力満点！笛や太鼓のはやしに合わせ、太刀を振る舞い大蛇を退治する光景に感激し、皆様大満足の様子でした。
公演終了後は、バザーに立ち寄り、多くの安い品に皆大喜びで買物され瑞雲荘を後にしました。
庄内神楽の皆様、本当にありがとうございました。



誕生日会

毎月その月の利用者様に鉢植えのお花と写真をプレゼントいたします。誕生日会の際、利用者様に一言頂くのですが、「もう10年デイサービスでお祝いしてもらいました。これからも元気にデイサービスに来たいと思います。」とおっしゃる方もあり、毎回明るい笑顔で写真撮影を行っています。左の写真はそんな写真の中の一枚です。

きつきの里デイサービスセンター



今月の壁紙「紅葉」



こだわりの食事

きつきの里デイサービスでは寿司の日、点心の日、麵の日、炊き込みご飯の日を設け他にも桃の節句、端午の節句等行事等に特別メニューを提供しています。



カラオケ大会

今月もわかば会に来ていただき、踊りと歌で利用者様を楽しませていただきました。演歌はもちろん、テンポの速い曲まで披露していただき、利用者の皆様は大満足の1時間でした。



つわの花



利用者様がつわの花を摘んでくださいました。道端につわの花を見かけ、季節を感じるこの頃です。

三楽園利用者様の手作り壁紙

「銀杏の木」



絵手紙紹介

「緋麻（ひま）」

三楽園ご利用者 木下 東子様



瑞雲荘

庄内神楽

「第2回大田福祉祭り」で予定していた「庄内神楽」が瑞雲荘内で行われました。きつきの里デイサービス、三楽園デイサービスのご利用者の方々も参加され、間近でみる神楽に釘付けになっていました。
内容は「大蛇退治」で、高天原を追放された素戔嗚（スサノオ）尊が、出雲の川の上流で八岐の大蛇を退治して、榊原田（クシナダ）姫を助けるといふものでした。利用者様の中には感激の余り、感涙してしまう利用者様も居られました。
庄内神楽の皆様どうもありがとうございました。

